

2020 年度

福島県立医科大学看護学部

学術委員会主催

MY PREMIUM を 広める会

2021 年 3 月 11～25 日

オンデマンド

講演は各 20 分

講演 1

「地域課題を解決するために看護職にできることとは何か？」
看護の価値を高めるため、10 年目に辿り着いた答え」

株式会社ふくしま在宅保健医療福祉研究所
なごみケア訪問看護ステーション代表
菅原 宏大

オンデマンド方式で開催します。

下記にお申込いただければ、

URL と ID・パスワードを送ります。

申込先：

email:kyoumu2@fmu.ac.jp

申込締切：3 月 4 日（木）まで

講演 2

「病と闘う・病と生きる子どもと家族を支える
ーファミリーサポートハウスの活動を通じてー」

認定特定非営利活動法人パンダハウスを育てる会
福島県立医科大学看護学部
古溝 陽子

2021 年 3 月 11 日（木）～3 月 25 日（木）に「My Premium を広める会」がオンライン方式で行われました。「My Premium を広める会」の目的は、福島県内の看護実践や研究について報告し合い、刺激を受ける場をとって開催されています。

今回は 2 名の講師の先生を招いて開催されました。

1 人目の先生は、株式会社ふくしま在宅保健医療福祉研究所 なごみケア訪問看護ステーション代表の菅原宏大先生です。テーマは「地域課題を解決するために看護職にできることは何か？ 看護の価値を高めるため、10 年目に辿り着いた答え」でした。

2 人目の先生は、認定特定非営利活動法人パンダハウスを育てる会、福島県立医科大学看護学部、古溝陽子先生です。テーマは「病と闘う・病と生きる子どもと家族を支えるーファミリーサポートハウスの活動を通じてー」でした。

それぞれの先生方の組織を立ち上げるまでのきっかけやマネジメント、患者様を支える上でのエピソードや苦労した点などが語られました。先生方は、対象者の方々やご家族と向き合い寄り添い、医療専門職として、そして地域の一員としての責任感とやりがいをもって運営をされていることを知りました。

先生方のお話を伺い、福島県立医科大学看護学部の卒業生や教員が専門性を発揮し、福島県健康、地域・在宅医療、療養支援の分野において活躍され、広く社会に貢献されている現状を知ることができました。

この講演内容は在校生や卒業生に対し、卒業後の進路や将来のビジョンに大きな影響を与える貴重な内容であり、多くの学生に是非聴講して頂きたいと思いました。